

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第785号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)

●発行日—令和5年6月1日

●発行所—社団法人北海道手をつなぐ育成会

〒060-0002 札幌市中央区

北2条西7丁目かでの2・7(4F)

電話 011-251-0855

FAX 011-251-0804

Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

●発行人—佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

私の妹は風疹症候群で、耳や目、脳、心臓に障がいがありました。自閉症もあり、こだわりとパニック、自傷、他害などで家族みんなが大変な思いをしました。30歳の時、風邪をこじらせて肺炎になり、それがもとで他界しました。

妊娠中の母に風疹をうつしたのは私だと母から聞かされていたので、家で起きるいろいろな大変なこと、悲しいことなどを全て自分のせいだと感じながら過ごしてきました。妹の障がいを理由に学校でいじめられた時も、親には言えず、不登校になるまで気付かれませんでした。親なきあととは妹の面倒を見てほしいと言われ、中学や高校の頃、親にやりたい仕事を伝えても反対されるばかりだったので、就職先は妹を養える収入が見込めるかどうかで選びました。親にはしてもらったこともたくさんあるはずなのですが、母の愚痴を延々と聞かされたり、父には叩かれたり怒鳴られたりも多かったため、あまり良い思い出がありません。親戚も妹を忌避し、いとこの結婚式には妹と母は出席できませんでした。隣家からは、妹の奇声を騒音被害として裁判沙汰にされそうになったこともあります。私は妹が亡くなった後に福祉の仕事に就きましたが、障がい者がいない家庭で育っていたら、きっと選んでいないと思います。妹のことはかわいいと思っていたし、小学生の頃にはもう「障がいのある人もない人もともに幸せに暮らせる社会になってほしい」という願いが私の心に芽生えていたので、それを無視して何かを選ぶことは、今もできずにいます。

私が「きょうだいの会」の存在を知ったのは40代、もう妹も亡くなった後です。札幌には参加できる会がなかったので、「きょうだいはみんな私と同じような思いで生きているのだろうか」ということを知りたくて、自分で会を立ち上げてみました。私一人でできることは限られているため、今は、それぞれの抱えている悩みを聞き合い、持っている情報、知恵を交換する茶話会の活動で精一杯ですが、その中で出会ったきょうだいさんの中には、つらい経験が重なり精神障がいを抱えてしまったという方もいました。

こころの問題や、進路や結婚、親なきあとで悩まれている方は依然として多いです。障がいを持たずに生まれたきょうだいも、様々な差別を受け、傷つきながらなんとか生き抜いています。学校の先生など、きょうだいと関わる周りの大人が事情や気持ちを理解し支えてくださることも必要だと感じています。

この4月には「日本きょうだい福祉協会」も設立され、世間の目もきょうだいに向けられるようになってきました。しかし、実際の支援の担い手はまだとても少ないです。きょうだい同士で運営する団体がほとんどですが、親御さんや医療・福祉職の方による団体も増えてきました。道内各地でも、きょうだいへの想いをもって担ってくださる方が増えることを心から願っています。

北海道きょうだいの会 白石 未佳子

誰もが自分らしく、自分の人生を歩むことができる社会に！

「きょうだい」を理解し支える輪を広げたい

☆支援のカギは「安心」

必要な家族への支援

4月10日は「きょうだいの日」でした。「ヤングケアラー」について取り上げられることが増えてきましたが、同様に「きょうだい—障がいなどのある人の兄弟姉妹」の問題にも目が向け

られるようになってきました。

「きょうだい」への支援を考える時、カギは「安心」。きょうだいの気持ちに寄り添い、どんなことも否定せず、受け止められるかが大切です。また、きょうだいを含めた家庭全体への支援が十分でないために、きょうだいについて大きな負担がかかっている現実について

考えていくことが必要です。

北海道きょうだいの会 会長

白石 未佳子さんに伺いました



四月末、北海道きょうだいの会代表の白石さんにお会いしてお話を伺いました。また先日、ご自身の経験を寄せていただきましたので、掲載させていただきます。

【続報】

北海道手をつなぐ育成会

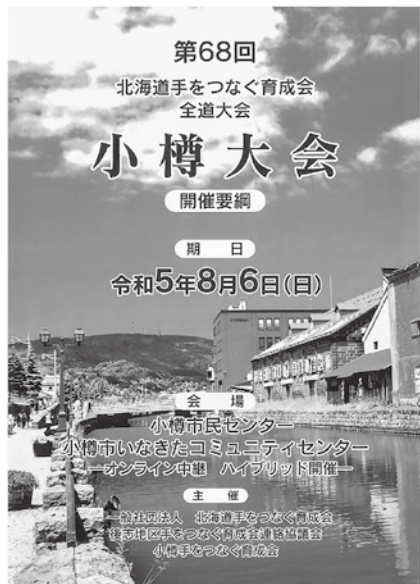
第68回全道大会 小樽大会

現地からの便り

会場案内

小樽大会実行委員会の奮闘により、とても素敵な開催要綱ができました。皆さんのお手元には届いたでしょうか。ゆっくりとご覧いただき、ぜひ大会参加を夏の予定に加えてください。

小樽大会のテーマは『笑顔で暮らせる毎日』を、本人大会テーマは『コロナ禍だからこそ、仲間と共に支えあい輝ける未来を』です。新型コロナウイルス感染症は、私たちから多くのことを奪いました。でも、私たちはここに止まることなく、コロナ後を見据え、将来を展望していかねばなりません。夏の小樽を会場に、皆さんとの再会を喜びつつ、大いに学び合えたらと思います。



本人大会会場（下の写真）

いなきたコミュニティセンター（稲穂5丁目10-1）

○JR小樽駅より徒歩15分程度

○4階に駐車場がありますが、大型車の駐車は難しいです。

大型車でお越しの際は実行委員会にご相談ください。

○思い出観光参加の方は、市民センターで受付となります。



小樽市民センター（色内2丁目13-5）（上の写真）

○JR小樽駅から、ゆっくり歩いても10分程度と大変好条件の場所です！

○駐車場はありますが、台数が限られています。

○昼食は各自でお願いします。昼食時間を1時間半とっていますので、合わせて夏の小樽をお楽しみください。（観光シーズンですので、お店選びと事前の予約をしておくとうれしいと思います。）

少しずつ広がってきた！

グワイエットアワーの取り組み

今回の小樽大会・本人大会でも観光コースに入っている小樽水族館。全国的にも有名な施設の一つですが、昨年、その小樽水族館の取り組みがちょっとした話題を呼びました。聴覚過敏の方には、他の人には何でもない音であっても大きく聞こえたり、聞こえ方に障がいが出たりして、苦痛を感じることもあると言います。

小樽水族館では、そうした方であっても安心して水族館を楽しんでほしいと、昨年「音のない水族館」を実施しました。当日は、館内のBGMやショーで流れるいろいろな音を消しました。司会の方も、声を出さずに伝える工夫したとのこと。今年度も、実施の予定だと聞いています。

他に、一般企業でも同様の取り組みを進めているところがあります。その一つがツルハドラッグです。これからは社会貢献が求められる時代だとの考えから、先ずできることから始めようと「クワイエットアワー」をスタートさせたといっています。現在、札幌市内の10店舗（全国27店舗）で、毎週土曜日9:00～10:00まで、BGMを止めたり、照明を50%低下せたりして、感覚過敏の方でも来店しやすいような店づくりを進めているそうです。



私たち育成会、ただ今、奮闘中！

地区育成会の活動紹介 その3

わくわく！ピザづくりで笑顔満開！ しらおい障がい者と手をつなぐ会

小川 典子

3月18日、48名の参加で料理教室『ピザを作ろう！』を行いました。

今回、なぜ『ピザ』を作ろうと思ったかというと、昨年の忘年会で、テイクアウトを利用しているいろいろな種類の料理の中から食べたものを選んでもらったことがきっかけです。メニューを貼り出すと、仲間たちは大殺到。「私、これ食べたい！」「ぼくはこれにしました！」と笑顔で報告してくれました。その中でも特に大人気だったのが『ピザ』。グループホームでも通所先のフロンティアでも確かにピザはできません。

そんな姿を見て
《みんなこんなにも
ピザが食べたいんだ
なあ…》と思い、料
理教室で作ることを
決意しました！

コロナ禍のため、
衛生面や感染予防対
策をしっかり考えた
うえで、3グループ
に分かれて開催する
ことにしました。



みんなワクワク、ソワソワ、マスク越しでもわかるほどとても嬉しそうな表情。ピザ生地を渡すと、早速コネコネ…。自分

分が食べたい大き
さまで伸ばす。こ
れがなかなか難し
い。あまり小さい
と具がのらなかつ
たり、とにかく大きすぎる人もいたり様々。

好きな具材を選ぶのも、また楽しみ。具材をこんもりのせる人、控えめな人、どうしようと思ひ人、みんなそれぞれ思い思いの『自分だけのピザ』が完成。焼きあがっておいしく食べている自分の姿が目に見えます。

今回の料理教室は、みんなの希望が叶い、それぞれの思いがこもったピザが出来上がり大満足な声があちこちから聞こえてきました。中には、普段はあまり行事に参加していない会員さんが「今度はお菓子作りもしたいね」と言ってくれたり、「またやりたい！」との声も多数あり、来年もピザづくりにしようか…、お菓子作りも面白そうだなあ…と勝手に検討中です。

今回、コロナ禍でもこんなに楽しく過ごしている参加者を見て、『ピザ』にして本当に良かったなあと感じました。



2023ほっかいどう

ナイスハートフェア

inアリオ札幌開催

障がいのある方々の自立支援、就労施設等の製品の販路拡大・PRを進めるため、今年も「ほっかいどうナイスハートフェア」がイートリーカードアリオ札幌店を会場に開かれています。開催は、毎月第一火曜・水曜日の2日間です。道と(株)イトーヨーカ堂の連携による取り組みで、平成20年から続いています。

5月9・10日に開催されたフェアには、10事業所が出店。人通りの多いアリオ一階ハーストコートには華やかな雰囲気があり、買い物帰りの人たちが足をとめて商品に見入ったり、買い求めたりする姿がありました。こうした取り組みが継続されていることは、すばらしいことです。これまで多くの方のご苦労が引き継がれてきたことだろうと思いました。



6月の予定

3日(土) 令和5年度事業所協議会総会・研修会
11日(日) ピアカン研修会

小樽大会本人大会第三回実行委員会

げっばう4月号に掲載した写真につきまして、配慮に欠ける点がありましたことを深くお詫び申し上げます。



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に



病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康組合保険（特約付）2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの

こども傷害保険

権利保護連補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150
平日9時～17時（土日・祝日・年末年始を除く）
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

知的障がい児者・自閉症児者の

生サポは **家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 〔地震・噴火・津波によるケガも対象〕	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102 レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間：午前9時～午後5時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

2022年12月現在の内容です。（D-006318 2024-03）

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7（4F）
電話（011）251-0855／FAX（011）251-0804
E-mail：doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

就労継続支援B型事業所 『軽食喫茶 たんぽぽ』
〒040-0063 函館市若松町33番6号 函館市総合福祉センター内
TEL・FAX（0138）27-9711

★主な作業

- ☆喫茶店での接客業務
- ☆パンの販売
- ☆厨房内作業（洗い場・盛り付け 清掃等）

大切にしていること

笑顔を忘れず『あいさつ』しよう
皆で協力し、明るい職場にしよう
仕事は最後まで責任を持とう